

全国訪問教育研究会

第23回全国大会（千葉）開催要項

2010年4月20日

■大会実行委員長あいさつ■

私と訪問教育との出会いはもう10年以上前に遡ります。当時、私は千葉県松戸市に大学時代の友人2名と「あおぞら診療所」を立ち上げたばかりでした。在宅医療に特化した診療所で、24時間、365日体制で、高齢者や障害があつて通院が大変な方や、再発癌など治らない病気で自宅で最期まで過ごしたいと願われる方々を、現在600名以上診療しています。その中には、70名程度の子ども達も含まれています。

往診時に時々訪問学級の時間とぶつかり、私は訪問学級の様子を見せていただきました。気管切開され、手足も動かせず、コミュニケーションが困難なその子に先生方は様々なアプローチで関わり素晴らしい教育をされていました。何より感動したのは、その子が、訪問学級の時、私たち医療者に見せるのとは全く違った顔を見せるということでした。本当に嬉しそうで目が輝いているのです。その体験を通して、重症児への教育の重要性を認識し、訪問学級の先生方の情熱と技術に深い敬意を持つようになりました。

今回、全国訪問教育研究会第23回全国大会の委員長の働きというご依頼を頂き、全国の情熱溢れた先生方とこの会を作り上げていけることを大変光栄に感じています。

何卒、よろしくお願い致します。

全国訪問教育研究会第23回全国大会実行委員長
前田 浩利（あおぞら診療所新松戸 院長）

■大会テーマ■

「地域に根ざした訪問教育を進めよう～地域への発信からみえてきたもの～」

■開催日時■

2010年8月3日（火）～5日（木） 開場12時00分（開会13時00分）

■会場■

ポートプラザ千葉（最寄り駅：JR京葉線「千葉みなと駅」徒歩1分）
〒260-0026 千葉県千葉市中央区千葉港8-5 TEL:043-247-7211

■主催■

全国訪問教育研究会

■大会日程■

1日目（8/3）		2日目（8/4）		3日目（8/5）	
12:00	開場・受付開始	9:00	（分科会打ち合わせ）	9:00	ワークショップ （～11:00）
13:00	開会行事・基調報告 第六次全国調査報告	9:30	分科会	11:15	全体会 ・閉会行事
14:00	開催地からの報告	12:00	昼食	11:45	大会終了
15:15	大会記念講演	13:00	分科会		
16:45	記念講演終了		親の会懇談会		
17:00	全訪研総会	16:30	分科会終了		
17:45	分科会打ち合わせ （司会・共同研究者・ レポーター）～18:25		休憩		
19:00	夕食 訪問なんでも交流会	18:30	共同研究者・役員懇談 夕食交流会		

※1日目の夜に「訪問なんでも交流会」を企画しています。全訪研の役員も参加するので、訪問教育についてのいろいろな質問や困っていることなど、話しに来てください。もちろん、楽しい話も歓迎します。

■後援■（申請中を含む）

文部科学省・厚生労働省
全国特別支援教育推進連盟・全国特別支援学校肢体不自由教育校長会
全国特別支援学校知的障害教育校長会・全国特別支援学校病弱教育校長会
社会福祉法人全国重症心身障害児(者)を守る会・全国訪問教育親の会・全国病弱教育研究会
全国肢体不自由特別支援学校PTA連合会・社会福祉法人全国社会福祉協議会
認定NPO法人難病のこども支援全国ネットワーク・独立行政法人国立特別支援教育総合研究所
東京都訪問教育研究協議会
日本小児科学会、日本小児神経学会、千葉県小児科学会
千葉県教育委員会、千葉県特別支援教育研究会訪問教育部会

■内容■

(1) 訪問教育の現状と課題（第六次全国調査報告） (8/3 13:15~13:55)

全国訪問教育研究会では、4年ごとに訪問教育に関する全国調査を実施しています。今回は、2009年度の調査結果について報告致します。

(2) 開催地からの報告 (8/3 14:00~15:00)

千葉での開催は初めてとなります。開催地からの報告として松戸特別支援学校の矢切高校との交流実践を紹介いたします。訪問先の家庭と会場をテレビ電話（PCインターネット）でつなぎ、リアルタイムでその交流風景を観ていただきながら、地域とのツナガリからみえてくるものをみなさんと考えていきたいと思えます。また、今後もそのつながりが広がっていき、生活への豊かさになってほしいと考えます。

(3) 大会記念講演 (8/3 15:15~16:45)

演題：「地域で子どもたちを支える」

講師：前田 浩利（あおぞら診療所新松戸院長・東京医科歯科大学医学部臨床教授）

（講師紹介）

1989年 東京医科歯科大学医学部卒業後、東京医科歯科大学小児科臨床研修医、武蔵野赤十字病院臨床研修医を経て東京医科歯科大学小児科、土浦協同病院小児科医員となる。1999年友人3名と訪問診療に特化した「あおぞら診療所」を松戸に立ち上げる。

地域に密着した在宅診療として高齢者から障がいをもった子どもたちまで幅広く活躍、訪問部の子どもたちの主治医として特別支援学校の修学旅行にも同行。著書には総合医療ブックス「ギヤ・チェンジ」（医学書院）、また、「月刊家族ケア」「明日の在宅医療」「在宅医療ガイドブック」にて在宅小児医療について数多く執筆。

（講演要旨）

小児ガンとの出会いから在宅医療の重要性を、そして「あおぞら診療所」の立ち上げから10年がたち、あらためて地域の中で家族と一緒に生きていくことの大切さを、そして今後、障がいをもった子どもたちだけでなくその家族を含め、誰もが安心して暮らしていくには・・・、地域で子どもたちを支えていくための人とのつながり、実践を通しての医療と教育と福祉との連携を考える。地域力・・・そこからみえてくるものを検証していく。

(4) 全訪研総会 (8/3 17:00~17:30)

全訪研の昨年度の活動、今後の活動方針等について総会を行います。

- ①活動報告（2009年8月～2010年7月の全訪研の活動内容）
- ②2009年度決算報告、会計監査 ③2010年度予算 ④活動方針
- ⑤規約 ⑥役員候補 ⑦事務局員委嘱 ⑧連絡員委嘱

(5) 分科会

(8/4 9:30~16:30 ※12:00~13:00 は休憩)

分科会名	分科会のねらい（◆共同研究者）
①健康・身体づくり	障害が重く、日常的にさまざまな健康管理が必要な子どもに対する、呼吸・摂食・排泄・運動動作などの指導について講義・実践を交えながら交流しましょう。 (※午前はレポート報告、午後は実技講座を行う予定です。) ◆川真田喜代子（淑徳大学）
②コミュニケーション	重度・重複障害児のコミュニケーションを育てるための援助や配慮について、レポートを元に訪問での実践内容を交流しましょう。小中学部の訪問生だけでなく、過年度卒業生など青年期に入っている生徒についても、「コミュニケーション」という視点から幅広く討議をしましょう。 ◆川住隆一（東北大学大学院）
③あそび・文化	障害が重く、限られた環境条件の中での「あそび」は、どの教師も親も悩むところだと思います。貴重な経験や工夫を交流しあって共有の財産としましょう。訪問での実践内容、また、高等部生徒や過年度卒業生など青年期に入っている生徒についても、「あそび」から発展した「文化」という視点から幅広く討議しましょう。 ☆参加される方は、教材を持ってきてください。分科会内で教材紹介を行います。 ◆木下博美（全国訪問教育研究会副会長・京都府立舞鶴養護学校）
④施設入所児者の教育	施設入所児者の教育内容について、具体的事例を通じて実践を深めていきましょう。また、就学免除者等、不就学者の教育保障について関係者との連携を大切にしながら進み始めている実践を交流しましょう。 ◆河合隆平（金沢大学）
⑤病気療養児の教育	“生きる力を育む” いのちの輝く教育を求めて、病気療養児の教育内容・方法や、院内学級・分教室・病院内訪問教育の実践を深めていきましょう。 ◆武田鉄郎（和歌山大学）
⑥地域での生活支援と教育 ー医療・教育・生活	「地域の中で生きる」視点での生活支援、卒業後の進路を見通した指導、アフターケア、社会参加など、子どもたちの教育と生活を豊かにする地域支援のネットワークづくりが大切になっています。医療的ケアを必要とする障害の重い子どもたちから内部疾患を持つ子どもたちの地域での生活など、様々な障害のある子どもたちの就学前から在学中、卒業後までの教育と生活を考えていきましょう。 ◆下川和洋（全訪研全国事務局・NPO法人地域ケアさぼーと研究所理事） ◆藤井公雄（千葉県中核地域生活支援センター「ほっとねっと」所長）

●分科会レポートの申込みについて

分科会でのレポート発表を希望される方は、次の①～④について、**6月10日までにレポート担当宛に連絡をお願いします。**

- ①分科会名・氏名・学校名または所属先名
- ②自宅住所と電話番号(FAXの有無)・メールアドレス
- ③レポートタイトル
- ④使用する視聴覚機器(ビデオ、パソコン等)

★大会実行委員会で用意できる視聴覚機器は、原則として、プロジェクターとスクリーンです。
パソコン、ビデオ、その他の機器を使用する場合は、各自でご用意ください。

※レポート、視聴覚機器についての質問は、レポート担当宛までお願いします。

<レポート担当> 全国訪問教育研究会 全国事務局 栗山弘子

FAX 03-5330-8857 h-kuri@peach.ocn.ne.jp

*発表されたレポートは、全訪研研究集録「訪問教育研究第23集」に掲載させていただく場合があります。原稿依頼を受けた際はよろしくをお願いします。

●分科会レポート資料の提出・書式について

①書式

- *資料用紙は可能な限りA4版でお願いします。ページ数は自由です。
- *表紙には「発表分科会名」「タイトル」「発表者名（団体名）」を記入して下さい。

- ②レポートは各自で120部印刷して、事前に下記宛に送付するか、当日持参で受付に提出して下さい。
※会場で、当日印刷は、できません。 ご注意ください。

<郵送する場合の送付先> ★送付は、7月31日～8月2日の間に必着でお願いします。

〒260-0026 千葉県千葉市中央区千葉港8-5 TEL:043-247-7211
 ポートプラザ千葉
 (※「全国訪問教育研究会レポート在中」と明記してください。)

(6) 全国訪問教育親の会懇談会 (8/4 13:00~16:30)

大会2日目の午後に全国訪問教育親の会懇談会を開きます。日頃、思っていること、悩んでいること、いろいろ話しにきてください。訪問(卒業生も含めて)の保護者のみなさんの参加をお待ちしています。(場所は、全訪研大会と同じ会場です。)

(7) 夕食交流会 (8/4 18:30~20:30)

大会2日目の夕食は、宴会形式の交流会です。全国各地から参加したみなさんが気軽に話し合い、交流できる場になればと思います。千葉では、音楽仲間が集まり、二胡、バイオリン、オカリナ、ギター、ボンゴの演奏を聴きながらのディナーコンサートを企画。当日をおたのしみに……

(8) ワークショップ (8/5 9:00~11:00)

	ワークショップ名	講師	内容
A	子どもの見方・とらえ方	高木 尚(全訪研副会長)	私たちは、重い障害のある子どもたちをどう理解していったらよいのでしょうか。「こんにちは」連載の「重症児の理解と授業づくり」の中の子どもの見方・とらえ方の部分を中心にお話しし、皆さんと一緒に考えたいと思います。
B	授業づくり	木下博美(全訪研副会長)	表出の少ない重度の訪問の子どもたち。どうすれば、その心に触れることができるのか?どんな授業ができるのか?悩みながらの実践をお伝えします。
C	発達段階と教材	関口薫(白井市発達センター)	発達段階にあった教材の選び方、使い方を知り、今後の授業のなかでのヒントになるような具体的な内容です。
D	音楽で遊ぼう	大山敦子(つくし特別支援学校)、藤原美恵子(松戸特別支援学校)	音楽療法を通した子どもへのアプローチ、どのように子どもたちに音を提示し、感じ取りやすい環境にするか、実際に音楽を使ってお話しします。
E	テレビ電話授業	宗田恭一(松戸特別支援学校)	開催地での報告に出てきたテレビ電話を、どのようにすれば授業に取り入れられるか、実際に詳しく説明します。

(9) 全体会(閉会行事) (8/5 11:15~11:45)

大会最終日の全体会です。以下の内容を予定しています。

- ・大会宣言 ・実行委員長あいさつ ・わくわくクラブ(保育)の活動、参加者の紹介
- ・次回開催地への引き継ぎ ・閉会あいさつ ・歌「小さないのち」

■わくわくクラブ(保育)と緊急時の体制について■

実行委員会では、子どもさんや障害があるお子さん連れでも、保護者の方に参加していただきやすいように、わくわくクラブ(保育)を設けます。

●時間帯 次の4つの時間帯でわくわくクラブを実施します。

- (a)8月3日(火) 13:00~17:30
- ※(b)8月4日(水) 9:00~12:00
- ※(c)8月4日(水) 13:00~17:00
- (d)8月5日(木) 9:00~12:00

※元気組とゆったり組に分かれて活動します。8月4日(水)は、元気組(希望者)はディズニーリゾートへ行く予定です。(費用は5,000円ぐらいかかります。)その場合は、わくわくクラブの時

間は9時～17時になります。ゆったり組は近隣散策とミニコンサートの予定で、クラブの時間は9時～12時及び13時～17時となります。

- 緊急時の体制と医療機関(緊急時には、会場近くの病院での対応をお願いしています。)
千葉大学付属病院 〒260-8677 千葉市中央区亥鼻1-8-1 TEL 043-222-7171

●わくわくクラブ(保育)申込み

- ・大会参加申込書の「わくわくクラブ(保育)の希望」の欄にご記入ください。
- ・内容によって、別途、おやつ代や見学代等の実費をいただきます。
- ・申込書の受け付け後、お子さんに安全かつ快適に過ごしていただくために、お子さんの医療的ケアや生活ケアについて、お伺いします。
- ・大会当日に、保険証または、そのコピーをご持参ください。

<わくわくクラブ(保育)についての連絡・問い合わせ先>
〒270-0022 千葉県松戸市栗ヶ沢784-17 松戸特別支援学校(寄宿舎) 齋藤まゆみ
TEL 047-388-2128 FAX 047-388-4781 matsudo-sh@chiba-c.ed.jp

■参加費・宿泊費■

①大会参加費

・全訪研会員	(3日間)	6,000円	(1日参加:2,500円	2日参加:4,500円)
・一般	(〃)	7,500円	(〃:3,000円	2日参加:5,500円)
・保護者	(〃)	3,000円	(〃:1,500円	2日参加:2,500円)

※参加費に加えて、お一人につき、500円の手数料をいただきます。(事前申込み、当日申込みのどちらも500円の手数料がかかります。)

※会員と一般(会員でない方)は費用が異なりますので、ご注意ください。参加申込みと同時に会員申込みをすることも可能です。参加申込書の「入会を申し込む」の欄に○をつけてください。

入会には年会費4,000円が別途必要です。会費は大会当日に全訪研受付でお支払いください。

②食事関係

昼食代(2日目 8/4)	1,200円
夕食交流会参加費(2日目 8/4)	6,500円

③宿泊費

<ポートプラザ千葉> ※宿泊場所は大会会場と同じ場所です。1泊朝食付きの料金です。
シングル 8,000円 ツイン 7,500円

■申込み方法■

- ①大会参加者1人につき1枚「参加申込書」にご記入の上、FAXまたは郵送で、下記の送付先へお送りください。また、全訪研ホームページからもメールで申込みができます。

☆全訪研ホームページ http://www.geocities.jp/chou_masaharu/

※参加申込者が複数いる場合は、恐れ入りますが「参加申込書」用紙をコピーしてお使いください。

※宿泊がご不要の場合でも、参加申込みをしてください。

【参加申込書の送付先・問い合わせ先】

〒164-0001
東京都中野区中野5-65-4 山梨ビル302号

株式会社 オズ・プロジェクト「全国訪問教育研究会第23回全国大会」

TEL: 03-5345-5528 FAX: 03-5345-5589
メール: jacky@ozpro.net (担当: 岡田 繁)

大会参加申込み締切 6月30日(水) ※会場はディズニーランドに近いので、締切を過ぎて申し込まれた場合、宿泊場所を確保できないことがあります。できるだけ早くお申し込みください。

②申込受付後、予約確認書・請求書をお送りします。

③お送りした予約確認書・請求書の内容をご確認の上、参加費・宿泊費の合計金額を指定口座までお振込みください。

■申込み後の取り消しについて■

ご宿泊の取り消しにつきましては、1件1名につき下記の取り消し料金を申し受けます。

ご利用の	14日前～4日前	3日前～2日前	前日	当日12時まで	無連絡不泊
当該料金の	20%	30%	50%	80%	100%

日数は宿泊初日から起算させていただきます。

昼食は、3日前より50%、2日前80%、前日・当日100%となります。

※返金については、上記取消料を差し引いた上、大会当日にさせていただきます。

※「大会参加費」については返金できません。代わりに、大会記録が掲載された「訪問教育研究 第23集」を12月末に送付致しますので、ご了承下さい。

■資料の請求について■

大会に参加できないが大会記録がほしいという場合は、12月末に発行される「訪問教育研究第23集」を送付致します。大会の記念講演や分科会まとめ、その他、訪問教育に関する資料が掲載されています。

下記の郵便口座に資料代（送料込み）として、1,200円の入金をお願いします。振替用紙の「通信欄」に「資料請求代」と明記して下さい。資料請求の受付は、6月30日までです。

【資料請求の振込先】 郵便振替口座番号「00130-2-95934 全国訪問教育研究会」

(※全訪研会員には、12月に機関紙「こんにちは」と一緒に「訪問教育研究 第23集」を送付しますので、資料請求のみの申込みはなさないよう、ご注意ください。)

■会場へのアクセス■

お車にて

- 東京方面より・・・ 東関東自動車道「湾岸習志野IC」より15分
- 成田方面より・・・ 東関東自動車道「湾岸千葉IC」より10分
- 両方面より・・・ 京葉道路「幕張IC」より20分



電車・モノレールにて

- JR京葉線「千葉みなと駅」より徒歩1分
- 千葉都市モノレール「千葉みなと駅」より徒歩1分
- 京成電鉄「新千葉駅」より徒歩10分
- JR総武線「千葉駅」よりタクシーにて5分



■問い合わせ先■

全訪研会長	：猪狩 恵美子(福岡教育大学)	TEL 0940-35-1520(研究室)	emikari@hotmail.com
全国事務局長	：長 正晴	TEL&FAX 049-231-6941	chou_masaharu@yahoo.co.jp

<参加申し込み・宿泊関係>株式会社オズ・プロジェクト (担当者：岡田 繁)

TEL 03-5345-5528 FAX03-5345-5589 jacky@ozpro.net

<大会全般>岡田敏男 (大会事務局長)

〒270-0022 千葉県松戸市栗ヶ沢 784-17 千葉県立松戸特別支援学校

TEL 047-388-2128 FAX 047-388-4781 matsudo-sh@chiba-c.ed.jp

<分科会関係>栗山弘子 (全国事務局) TEL&FAX 03-5330-8857 h-kuri@peach.ocn.ne.jp

<会費関係>大島元敏 (全国事務局) TEL&FAX 042-562-9343 fujiyaki@happy.odn.ne.jp

<大会資料>角田隆子 (全国事務局) TEL&FAX 03-3612-3951 nikoniko93@kjc.biglobe.ne.jp

<研究集録>榎木暢子 (全国事務局) TEL&FAX 044-722-3299 nak-wm.jinya@withe.ne.jp

全訪研ホームページ http://www.geocities.jp/chou_masaharu/

(こちらからも参加申し込みできます。また、全訪研に関するいろいろな情報が見られますので、ぜひ、ご覧ください。)

全国訪問教育研究会 第23回全国大会（千葉） 参加申込書

受付 NO

参加者1名につき、1枚の申込書をご利用ください。（家族の方は1枚で構いません。） **申込締切日 6月30日**

申込日 平成22年 月 日

フリガナ 申込者名		連絡先（ご自宅の住所、電話番号をご記入ください。） 〒 _____	大会参加と同時に、全訪研に入会をお申込みの方は、「○」をご記入ください。 入会を申し込みます。
フリガナ 所属先		TEL/FAX _____ / E-Mail _____	

フリガナ 参加者氏名	性別	参加（参加日に○をつけてください。） 会員（1日 2500円、2日間 4500円、3日間 6000円）、一般（1日 3000円、2日間 5500円、3日間 7500円）、保護者（1日 1500円、2日間 2500円、3日間 3000円）				8/3 な ん で も 交 流	8/4 夕 食 交 流 6500 円	宿泊（1泊朝食付き）			8/4 弁 当 1200 円	分 科 会	ワ ー ク シ ョ ッ プ	司 会 ・ 発 表 ・ 係	保 育 希 望	手 数 料 500 円	合計金額	
		8/3	8/4	8/5	○で囲んでください。			シングル	8/3	8/4								ツインの場合 同室希望者のお名前をご記入ください。
例 チバタロウ 千葉太郎	男 女	○	○	○	○	○	○	シングル	○	○		○	⑥	A	司会	○	○	円
本人	男 女							シングル									○	円
家族	男 女							シングル										円
家族	男 女							シングル										円

変更・取り消しに伴う返金の口座（ご自身の口座をご記入ください。）

銀行名 : _____ 銀行 _____ 支店 _____	確認後、受付 NO を記入したものをご返送しますので、控えとしてお取り置きください。 ご変更などの場合はご面倒ですが本紙に変更内容を追加記入いただき、FAXにてお願い致します。 また、変更や取消により生じたご返金につきましては、左記口座へお振込させていただきます。	合計金額 円
口座番号 : 普・当		
口座名義 :		

申込書 FAX 先:株式会社 オズ・プロジェクト FAX : 03-5345-5589 担当:岡田